

「はむらんをもっと利用したい」の願いが 一步実現！玉川町に「玉川2丁目」「堂坂下」

「はむらんを玉川町へも走らせて」との地元の方の声を議会で取り上げ、玉川二丁目
二カ所のバス停が設置されました。その他に、「川崎3丁目」「羽村大橋西」「福祉セン
ター」「小作駅東口」にもバス停が新設されました。

もっともっと便利にと日本共産党は

「バス停にベンチを」「高齢者は無料に」「反対回りもほ
しい」「本数を増やし、時間をもっと長く」と議会で要
求しています



マンションに引っ越
してきて買い物など行
くのに、バスが来て欲
しいと思っていました。バ
ス停がついた時には本
当に嬉しかったです。
マンション住民

玉川町から奥多摩街道
にあがるまでに2～3回休
みながらでなければ坂が
登れません。はむらんが
玉川にも来ることが決ま
り良かったです。
玉川住民

堂坂下と玉川2丁目に設置されたバス停

換地設計基準の説明会に地権者1,363人の うち参加者はたった199人でした

過去のどの説明会よりも最も少ない参加者でした

市は去年の暮れから今年の一月にかけて12回の説明会を開催してきま
した。今回の説明会は「換地設計基準」「用途地域・地区計画」について
で、自分の家が今後どのような基準で換地されるのかという地権者にとっ
て、知らなかった、では済まされない大切な説明会です。ところが参加者
はたったの199人でした。この人数は過去のどの説明会よりも最も少ない
者です。このままではとても事業は進められません。ところが市はこのよ
うな実態にもかかわらず、次ぎの予定である「土地評価基準の決定」を行
い「土地評価換地割り込み作業」へ進もうとしています。このような強行
は許せません。市は全地権者への説明責任を果たすべきでそれが出来ない
のならば、この計画を直ちに凍結又は白紙に戻し、再度この地域の「まち
づくり」について全市民を対象に計画を作り直すべきです。

**羽村駅西口区画整理事業は凍結または白紙に
住民合意が取れぬまま推進することに反対**



エナガ

小さい身体に長い尾があり、スプーン
の柄が長いようなスタイルで、胴体が
ぶどう色のかわいい小鳥です。
林の中を集団でジュリ、ジュリと飛び
回り、樹木の皮をつついて餌を探しな
がら移動します。